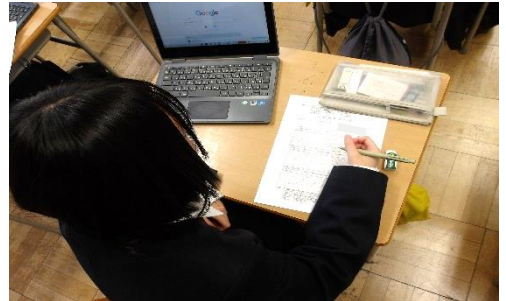
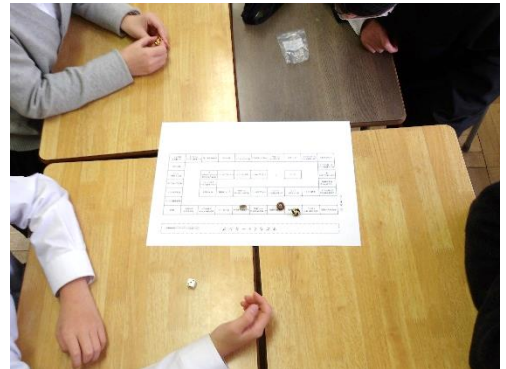


PR カード

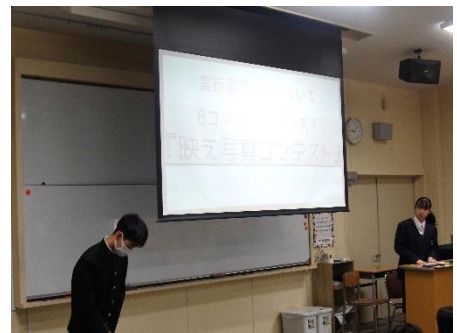
3年生は19日の学活の時間に、高校入試に向けて自己PRカードを記入していました。多くの生徒たちのペンが走らず、頭を悩ませているようです。かつては“自己プロモーション”(promotion)の略であると本気で思っておりましたが、「PR」は「Public Relations (パブリック・リレーションズ)」の略なのです。なんだか難しい話になります。かつてはPublic、は“公衆”、“Relations”は関係。つまり、社会や人々との関係を築くための活動全般を指す言葉ということになるのです。ただ単に自分の長所を述べるだけでは、PRになっていかないことに気づきます。“関係を築く”とはどのようなことでしょうか。志望校との関係を紡ぐと考えるべきでしょう。長所を並べるだけでは不十分です。これでは3年生は頭をかかえるわけです。長所のみを伝えることは「自己アピール」。“アピール”は決してピーアールの倒語ではありません。



14日、1年生は、3名の講師をお迎えして“構成的グループエンカウンター”について学びました。安心できる人間関係は安心した生活を作り出します。本校では継続的にエンカウンターについて取り組んでおります。レクリエーションの要素を取り入れながら、参加者の自己理解や他者理解を深め他者との Relations を良好にすることを目的としています。「すごろくトーク」サイコロを振り、止まったマスに書かれたテーマについて話すことで相互理解を深めます。「気になる自画像」は相手の良い所を見つけてビンゴカードに書き込み、その内容でビンゴを目指します。自分の意見の主張を苦手とする生徒や、まだ相手をよく知らない関係の時に緊張を和らげ仲間意識をはぐくみます。



20日、2年生は翌日に校外学習を控え、事前集会を開きました。各係の係長からしおりの説明、皆さんへのお願いなどの説明がありました。学年主任からは、「普段の仲の良い人とは異なる人で班が構成されている。ぜひ校外学習を通して Relations を深めてほしい。」今回の都内巡りは、行きたい場所について、班内でミニ PResentation をして訪問先を決定しました。実行する旅ですので行きたいだけでは成立しません。自ら課題を設定して訪問し解決するというミッション。そのような旅を、自ら PProduce するのです。更に、全面的に2年生を信頼した上で先生たちが、「チェックポイントは設けない」としました。ここまでの2年生をみて「この学年ならできる!」と判断したのです。2年生が、その思いに答え、校外学習での振る舞いで、この信頼をさらに厚いものにするべきなのです。そして自分史上最高 Personal Record 自己最高の校外学習にしてほしい。



なぜなら、この都内巡りは、来年度の金沢班行動に繋がる、PRe 修学旅行なのですから。